

水道事業PRリーフレットを発行

水道局では、将来にわたり継続的に水道サービスを提供するため、水道を使用している市民の皆さんに水道事業について関心を持っていただき、理解していただくことを目的として、次のとおり水道事業PRリーフレットを発行しましたので、お知らせします。

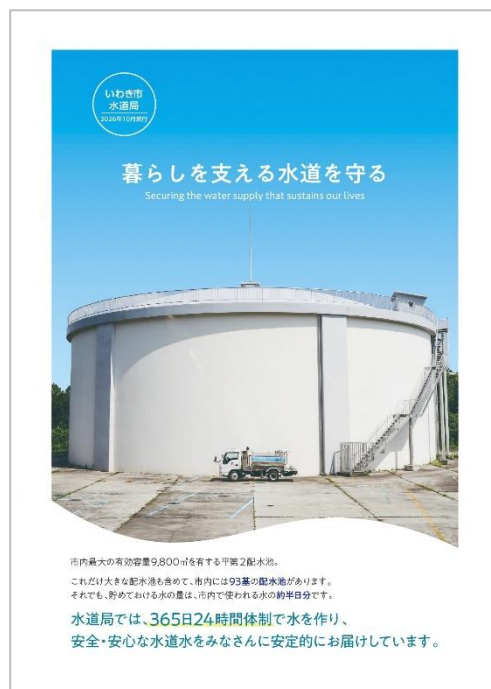
【主な内容】

「暮らしを支える水道を守る」をテーマに、浄水場水系間で相互に水道水を融通することができるように整備を進めている基幹浄水場連絡管整備事業や、令和8年3月に完成した平浄水場の浸水対策事業を紹介。

令和7年度の主な事業とその事業費や基幹管路等の耐震適合率、水道料金の使い道などについてもお知らせしています。

【配布及び入手先】

- ・ いわき市水道局 1階お客さまセンター窓口
- ・ 市内図書館、公民館等



※ イベント出展時にも配布するほか、市水道局ホームページでもご覧いただけます。

URL : <https://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1758760283589/index.html>





暮らしを支える水道を守る

Securing the water supply that sustains our lives



市内最大の有効容量9,800 m^3 を有する平第2配水池。

これだけ大きな配水池も含めて、市内には**93基の配水池**があります。
それでも、貯めておける水の量は、市内で使われる水の**約半日分**です。

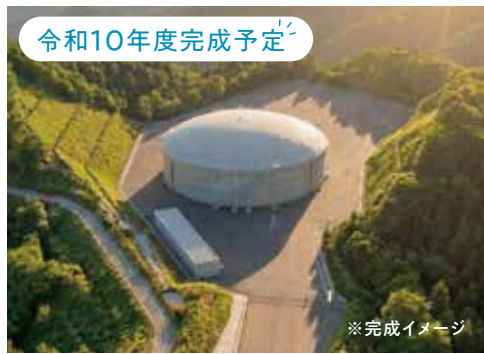
水道局では、**365日24時間体制**で水を作り、
安全・安心な水道水をみなさんに**安定的**にお届けしています。

最適で災害に強い水道システムへ

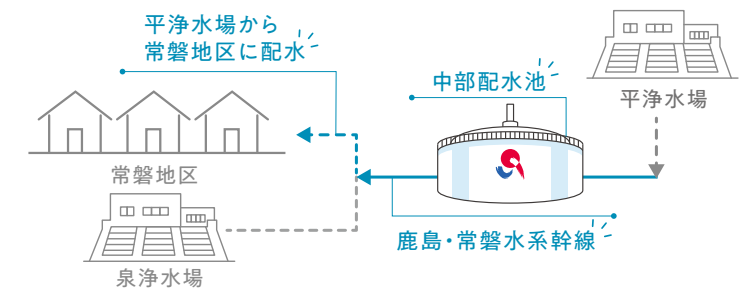
断水を最小化する

Minimize Water Outages
大きな災害が発生しても広範囲で断水しないために、浄水場の水系同士で相互に水道水を融通できるような連絡管などの整備を進め、バックアップ機能を強化します。

浄水場の間をつなぐ基幹配水池 ＜中部配水池などを新設＞



相互融通の基幹配水池「中部配水池」と、「鹿島・常磐水系幹線」を新設。泉浄水場から配水している常磐地区に、平浄水場からの配水が可能になります。



※将来的には、泉・常磐水系幹線の更新と泉浄水場送水管の新設に加えて、泉浄水場の再整備が完了することで、市内全域の浄水場水系間でのバックアップが可能になります。



浸水を防ぐ

Prevent Water Ingress

市内最大の浄水能力

＜平浄水場の浸水対策＞

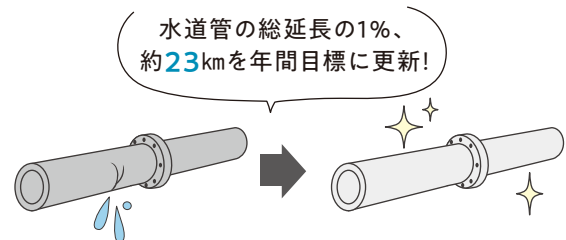
敷地全体を高さ2.1mのコンクリート擁壁と盛土堤防で囲み、2mの浸水にも耐えられるようにしました。

水道施設
津波・浸水対策事業



災害時はもちろん、100年後も安心して水道水が飲めるように

古い水道管を地震に強い水道管に更新

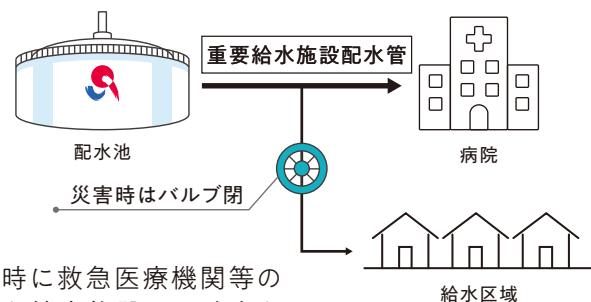


古くなった水道管を地震が起きても壊れにくい水道管に計画的に更新しています。

令和7年度事業費 約28億8,782万円

老朽管
更新事業

重要給水施設までの水道管を耐震化

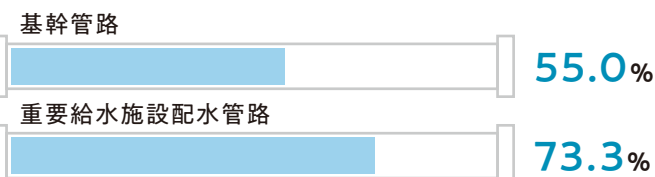


災害時に救急医療機関等の重要な給水施設への確実な給水を確保します。

令和7年度事業費 約5億8,238万円

重要給水施設
配水管整備事業

令和7年度末の耐震適合率※



※耐震適合率:耐震管や、地盤を考慮して耐震性があると評価された管の割合。

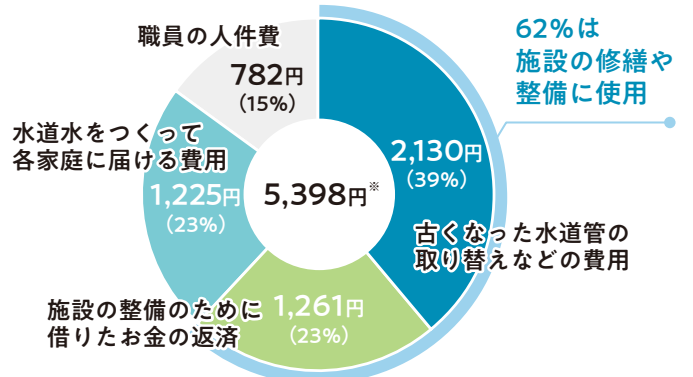
いわき市の水道管の総延長は？

約2,280km
北海道札幌市と沖縄県那覇市が直線でつながる長さです。



水道料金の使い道

水道事業は、事業に必要な経費を水道料金でまかっています。いわき市の水道料金の約6割は施設の修繕や整備のための費用に充てています。



[令和7年度決算値をもとに作成]

※口径13mm、2か月で28㎡使用した場合の水道料金。

確認しよう

災害時の 水の備え



01 1人1日3リットル×最低3日分

私たち人間は、1人1日あたり約2.5リットルの飲料水が必要とされています。

災害時に1人1日あたり3リットルとして3日～7日分の備蓄をしましょう。

家族の人数

人

× 3リットル × 3日 =

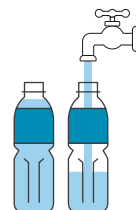
合計

リットル

Point

水道水は、塩素による消毒効果があり、3日程度は飲料水として使えます。

保存するときは、清潔な容器に口いっぱい入れ、しっかりフタをして涼しい場所に置きましょう。

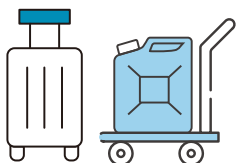


02 水を確保するための方法

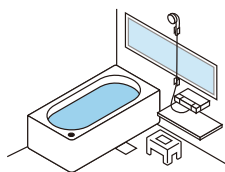
ポリタンク、ウォータータンク、ペットボトルなどの容器を準備



容器を乗せる
キャリーカート
などを準備



お風呂の残りを生活用水（洗濯など）に使う



03 給水所「耐震性貯水槽」の場所



耐震性貯水槽は、平常時に配水管の一部として使用していますが、災害時には飲料水を貯留し給水所として使うことができる施設で、市内26か所に設置してあります。

水道局ホームページで場所を確認しましょう。

耐震性貯水槽
設置場所



耐震性貯水槽は
写真の建屋やマンホールの下に
設置されています。

04 最新情報を『ホームページ』や『X』で入手

断水や復旧状況、給水所の情報は、「ホームページ」や「X」（旧Twitter）、テレビ、ラジオなどで随時お知らせします。

特に「X」では平常時も様々な情報を発信していますので、ぜひフォローをお願いします。

水道局
ホームページ



水道局
X



水道の開始・休止、料金、検針に関するお問い合わせ

いわき市水道料金お客様センター

☎ 0246-22-9300

【受付時間】平日8:30～17:15

水道の使用開始・休止の手続きは電子申請で／

使用
開始届 ▶



使用
休止届 ▶



※希望日の5日前
までにお申し込み
ください。

その他のお問い合わせ

給水装置に関すること

営業課給水装置係 ☎22-9304 【受付時間】平日8:30～17:15
※窓口での受付時間は、平日9:00～11:30／13:00～16:00になります。

宅地外の漏水（道路から水道メーターまで）、断水、水質の問題
工務課

平… ☎22-9306 内郷・好間… ☎22-9307

四倉・小川・川前・久之浜・大久… ☎22-9308

南部工事事務所 小名浜… ☎75-0801 勿来・田人… ☎75-0802

常磐・遠野… ☎75-0803

宅地内の漏水（水道メーターから蛇口まで）

水道局指定の「給水装置工事事業者」へ▶



発行

いわき市水道局

〒970-8026 いわき市平字童子町2-5
<https://www.city.iwaki.lg.jp/suido.html>

